

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

15124

市立保育所運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
施策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
取組方針	2	子供が健やかに育つことのできる環境づくり

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業 中事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	子育て支援課	栩野照章
事業実施の根拠法令	子ども・子育て関連3法		関連課	保育こども園課		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	市立保育所の整備及び維持管理を行うことで、施設の長寿命化を図り、安心安全な保育環境の提供を行う。		市立保育所の維持管理を行いながら、老朽施設については、大規模的な改修も行っていく。			
事業内容	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	
	市立保育所の維持管理、修繕	市立保育所の維持管理、修繕	市立保育所の維持管理、修繕	市立保育所の維持管理、修繕	市立保育所の維持管理、修繕	市立保育所の維持管理、修繕

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	20,068	19,730	19,016	20,520	20,091	15,860	20,059	0	20,059	0
伸び率(%)	△12.4%	△26.5%	△5.2%	4%	5.7%	△22.7%	△0.2%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	8,377	7,249	6,848	7,246	7,059	6,749	6,361	0	6,361
	正規職員以外	2,859	2,138	1,825	1,825	1,918	1,489	1,489	0	1,489
	小計	11,236	9,387	8,673	9,071	8,977	8,238	7,850	0	7,850
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	20,068	19,730	19,016	20,520	20,091	15,860	20,059	0	20,059	0
所要人数(人)	正規職員	1.04	0.90	0.86	0.91	0.91	0.87	0.82	0.00	0.82
	正規職員以外	1.15	0.86	0.57	0.57	0.57	0.29	0.29	0.00	0.29
主な予算内訳	令和4年度 所々修繕料 14,153千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
市立保育所の維持管理及び修繕予定施設数	園	目標値		18	14	14	13	13
		実績値		18	14	14		
		達成度(%)		100%	100%	100%	%	%
市立保育所の維持管理及び修繕完了施設数	園	目標値		18	14	14	13	13
		実績値		18	14	14		
		達成度(%)		100%	100%	100%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	和歌山市立認定こども園整備計画の進捗を見ながら、老朽化する市立保育所に対し、長寿命化のための整備や維持管理を行っていく必要がある。
見直し・改善内容	市立認定こども園の整備が進めば、市立保育所の維持管理コストを削減していく。